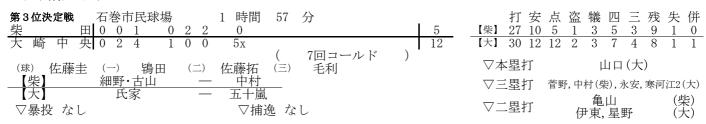
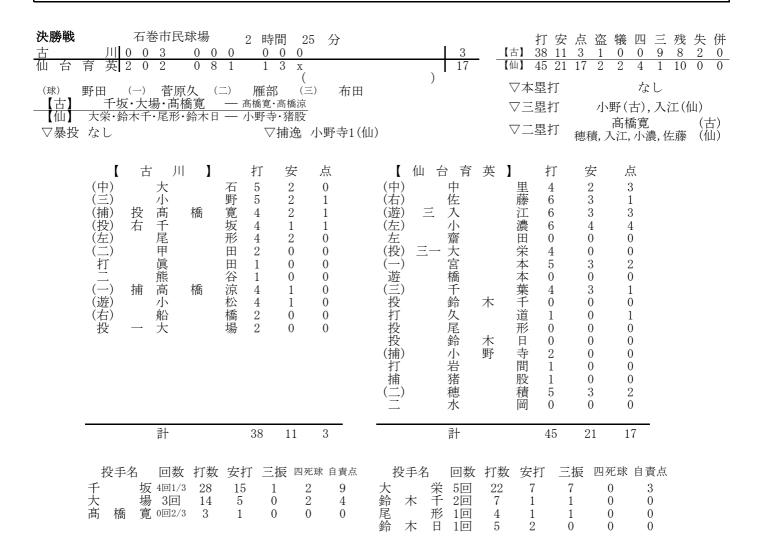
## 第71回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

□大会第6日目 9月23日(日)



## 【評】

両チーム合わせて長打9本を含む22安打の打撃戦。先制したのは大崎中央。2回犠打を含む3本の長短打で2点を先制。3回には3番山口の2点本塁打,6番五十嵐の左翼への適時打,7番伊東の適時2塁打で4点を追加。柴田は3回,2番千葉の中堅への適時打,5回は四死球や3番中村の適時内野安打,7回は8番菅野の適時3塁打,スクイズ等で追い上げた。しかし,7回裏,大崎中央7番伊東の内野安打を足掛かりに,8番永安のスクイズ,2番山根の適時打,最後は4番寒河江の今日2本目の適時3塁打で7回コールドで試合を決めた。



## 【評】

65年ぶりの優勝を目指して決勝を戦う古川高校。多くのファンが石巻市民球場のスタンドを埋めました。2点リードされた3回表,古川は二死から大石が内野安打で出塁,小野と高橋寛の連続長打で同点,4番千坂の中前打で逆転しました。この見事な集中打に球場は大いに沸きました。仙台育英は,相手エース千坂から先取点をとり,3回裏にはすぐに逆転,5回には7安打を集中して点差を広げ,主導権を握りました。その後も加点,21安打で17点を奪い,秋季宮城県大会を7連覇しました。